いなづま

第二十二回道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦　スタート前集合写真

ご挨拶

理事長　大倉　直

長かった酷暑もようやく一段落し、日増しに秋の深まりを感じる頃となりました。

組合員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る五月二十七日の第七十七回通常総会において役員改選が行われ、不肖私が再任され、あと二年間理事長を引き受けることとなりました。留任されました理事の皆様には引き続きご協力を宜しくお願い申し上げます。又、今回退任されました渋田理事、田仲理事におかれましては、任期中のご苦労に対しまして厚くお礼申し上げます。

今年の夏の平均気温は平年と比べて二・三六度高く、これまで最も高かった去年と一昨年を大幅に上回っていて、気象庁が統計を取り始めてから最も高くなり、北海道も平均気温が三・七度も高く、各地で四十度近くなるなど最高気温を観測して危険な暑さが相次ぎ、六月から職場における熱中症対策を強化するための法律が施行されましたが、道内の熱中症緊急搬送者も二〇〇〇人以上と昨年の一・八倍となっております。北海道は涼しいというのは過去の話で、北海道にはエアコンが絶対必要という時代が来たと思います。官公庁ではエアコン設置が一斉に発注されておりますが、民間においてはまだまだ需要が見込まれます。我々もエアコン設置に伴う電源工事だけではなくて、売上増のためにもエアコン本体の設置も積極的に取り組む事が必要ではないでしょうか。

北海道電力は七月三十日、ようやく原子力規制委員会から、泊発電所三号機の原子炉設置変更許可が認可され、これから設計及び工事計画許可・保安規定変更許可の補正書の認可、防潮堤設置工事の完成を経て二〇二七年のできるだけ早期の再稼働を目指しております。北海道電力ネットワークではレベニューキャップ制度の下での事業計画が電力需要の減少・物価高騰の

費用増により、十月一日より託送料金が値上げされることとなりました。北海道電力・北海道電力ネットワークにはもっと元気になっていただき、工事量が大幅に減少している組合にもさらなるご支援を期待したいと思います。

さて第三十六回電気工事業全国大会がメインテーマ「北の大地で広げる絆・共に拓こう新時代への扉」「子どもたちに憧れられる電気工事業界を目指す」をスローガンとして十月十五日・十六日に札幌市で開催されます。一五〇〇人規模の大きなイベントとなりますので、マスコミにも取り上げていただき北海道民に対しまして電気工事業界の宣伝になると思います。物価高騰の煽りが全国大会にも影響して、大変厳しい状況ではありますが、盛会裏に導くため、全国大会の各実行委員会で準備を進めていますので、皆さまにもご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

北海道電力ネットワークの電設工事ＮＥＴ利用率が七月末時点で函館は五十九％となっており、苫小牧の七十五％に比べますと、まだまだ少ない状態ですので、来年四月からの全面移行に向けて、できるだけ早めの電設工事ＮＥＴへの切替をお願い致します。

最後になりますが各組合員の益々のご繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

役員会だより

第一回役員会

七・五・八

一、経過報告・無し
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 組合員の異動
(2) 定期健康診断の実施結果について
(3) 令和七年度（第七十七回）通常総会について
(4) 道工組令和七年度総代会について
(5) 電気工事業界人材確保事業について
(6) 第三回役員会及び北工連絡会並びに連絡協議会の開催について
(7) 事務局職員の賞与の支給について
五、事業委員会事項
(1) 電設業務研修会の開催結果について
(2) 二級引込線工事士・限定低圧計測器工事士認定講習・認定試験の開催結果について
(3) イルミネーション工事決算報告について
(4) 電気工事士試験準備講習会の開催について
(5) 二級引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施について
(6) 函館工業高校電気情報工学科生徒インターンシップ現場実習の受入について
六、その他
(1) 引込線工事・計測器工事の単価改正について

第二回役員会

七・五・二十七

一、経過報告
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 令和七年度（第七十七回）通常総会の開催について
(2) 道工組令和七年度総代会について
五、事業委員会事項・無し
六、その他
(1) 令和七年度第三十回大レクリエーション大会について
(2) 津波時における津波避難ビルとしての使用に関する協定について

第三回役員会

七・六・六

一、経過報告・無し
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 令和七年度（第七十七回）通常総会の開催結果について
(2) 令和七・八年度役員所属委員会について
五、事業委員会事項
(1) 函館工業高校電気情報工学科生徒インターンシップ現場実習受入について
(2) 安全大会の開催について
六、その他
(1) 道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦について
(2) 函館港まつり「ワッショイはこだて」について

第四回役員会

七・八・二十

一、経過報告・無し
(有)宮本電気商会代表者ご尊父逝去
(株)さくらや代表者ご尊父逝去
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 第三十回大レクリエーション大会の開催結果について
(2) 電気工事業界人材確保事業について（中間報告）
(3) 「いなづま」一五八号の発行について
五、事業委員会事項
(1) 二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について
(2) インターンシップの実施結果について
(3) 電気工事士試験準備講習会の開催結果について
(4) 安全大会の開催結果について
(5) 港まつりへの参加結果について
(6) 一級引込線工事士新規及び更新講習の実施について
六、その他
(1) 第三十六回電気工事業全国大会について

組合行事

3月26日　電気工事業全国大会実行委員会と全日電工連との打合せに大倉理事長出席（道電気会館）
28日　正副理事長・事務局長会議
4月7～9日　定期健康診断（組合＝二二一名受診）
11日　第三回函館電協改革ワーキング委員会
15日　北海道電力関連工事安全協議会道南配電部会定例協議会に伊東副理事長出席（北電ＮＷ道南統括支店）
21日　第五回道工組改革ワーキング委員会に中野理事出席（道電気会館）
23日　正副理事長・事務局長会議
24日　道工業組合第一回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
仝日　北電ＮＷ・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長出席（道電気会館）
仝日　電気工事業全国大会部会長委員長会議に大倉理事長出席（道電気会館）
仝日　北部支部総会
仝日　低圧検満工事合同安全パトロール（北電ＮＷ江差ＮＷＣ一名・組合二名）
25日　八雲支部総会
5月7日　組合期末監査
8日　第一回役員会
9～11日　支部合同大阪関西万博研修旅行（参加者合計＝三十五名）
13～15日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝十五名受講）
15日　道工業組合監査に土谷副理事長出席（道電気会館）
仝日　道工業組合第二回役員会に大倉理事長（オンライン出席）土谷副理事長（道電気会館にて対面出席）
20日　東部支部総会
21日　福島支部総会
仝日　北部支部会議
22日　渡島支部総会
仝日　西部支部会議
27日　第二回役員会
仝日　第七十七回通常総会（組合三階大会議室＝本人出席五十八名）
29日　函館国際観光コンベンション協会総会に大倉理事長出席（函館国際ホテル）
6月5日　31日　青年部通常総会（組合会議室）
電気工事業全国大会交流会委員会に大倉理事長出席（道電気会館）
6日　第三回役員会
仝日　北工連絡会・連絡協議会（組合会議室＝北電二名・北電ＮＷ八名・組合八名出席）
11日　函館地区中小企業団体事務長会通常総会に伊藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤルシーサイド）
16日　道工業組合第三回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（ホテルモントレエーデルホフ札幌）
仝日　道工業組合通常総代会に大倉理事長ほか総代十名・伊藤事務局長出席（ホテルモントレエーデルホフ札幌）
17日　電気工事業全国大会部会長委員長会議に大倉理事長出席（道電気会館）
18～19日　二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習（組合会議室・北電ＮＷ宮前実習場一一八名受講）
20日　第一種電気工事士定期講習（函館市民会館＝一〇五名受講）
25日　大レクリエーション大会担当特別委員会
仝日　港まつり担当特別委員会
仝日　第一回青年部例会
27日　低圧検満工事合同安全パトロール（北電ＮＷ道南統括支店二名・組合二名・施工者四社）
仝日　正副理事長・事務局長会議
仝日　北部支部会議
7月2～4日　函館工業高校インターンシップ現場実習（組合員四事業所、生徒三十八名）
4日　全道事務局長会議に伊藤事務局長出席（道電気会館）
5～7日　第二種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンター＝十名受講）
6日　第三十回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼＝二二五名参加）
10日　函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体責任者会議に伊藤事務局長出席（サンリフレ）
11日　道工業組合臨時役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
12日　第二回青年部例会
14日　低圧検満工事合同安全パトロール（北電ＮＷ道南統括支店二名・組合二名・施工者五社）
23日　安全大会（組合会議室＝八十二名出席）
25日　江差支部安全大会（北電江差ネットワークセンター＝十四名出席）
29日　八雲支部安全大会（北電八雲ネットワークセンター＝十九名出席）
8月2日　函館港まつり「ワッショイはこだて」（二一〇名参加）
19日　低圧検満工事合同安全パトロール（北電ＮＷ道南統括支店三名・組合一名・施工者五社）
20日　第四回役員会
25日　電気工事業全国大会部会長委員長会議に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
29日　第二十二回道工業組合親善ゴルフ倶楽部交流戦（函館ベイコーストカントリークラブ函館二十一名、参加者総数八十九名）
9月3日　電気工事業全国大会部会長委員長会議に大

倉理事長出席（道電気会館）
5日　北部支部会議
16日　高圧検満工事合同安全パトロール（北電ＮＷ道南統括支店三名、組合一名、施工会社一社）
17日　一級引込線工事士新規及び更新講習（組合会議室・北電ＮＷ宮前実習場＝六十八名受講）
仝日　道工業組合第四回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
仝日　北電ＮＷ・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長出席（道電気会館）

お悔やみ

令和七年
六月　十五日　㈲宮本電気商会代表者ご尊父　宮本正彰殿　ご逝去
七月　十四日　㈱さくらや代表者ご尊父　櫻谷忠雄殿　ご逝去

組合員の異動

◎代表者の変更　（新）　（旧）
一、㈲平井電気　代表取締役　赤石　健太　工藤　藤三郎
一、㈱ワタナベ電器　代表取締役　渡邊　泰志　渡邊　明生

第七十七回　通常総会開催

令和七年五月二十七日(火)、第七十七回通常総会が組合会館で開催されました。出席状況は本人出席が五十八名、委任状出席八十一名、欠席二十三名でありました。

総会当日、午後一時三十分、伊藤事務局長より開会宣言、大倉理事長の挨拶の後、㈲五稜郭カスガの五十嵐洋輔氏（北部支部）を議長に選出し議案の審議に入りました。

提出した議案については、

第一号議案
令和六年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分（案）について

第二号議案
令和七年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

第三号議案
令和七年度役員報酬について

第四号議案
令和七年度組合借入金残高の最高限度額の決定について

第五号議案
令和七年度一組合員に対する貸付け（手形の割引を含む。）又は一組合員のためにする債務保証の最高限度額の決定について

第六号議案
任期満了に伴う理事及び監事の改選について

第七号議案
北海道電気工事業工業組合総代及び推薦委員の選出について

を上程し、第一号から第五号議案及び第七号は原案のとおり可決されました。

第六号議案で上程した役員改選は、指名推薦の方法で実施され、理事を四期八年と北部支部長を務めていただいた三洋電工㈱渋田重則氏、理事を二期四年と八雲支部長を務めていただいた㈱岩越電機田仲恒彦氏が退任されました。今まで組合にご尽力いただきましたことに対し、改めまして紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。退任されたお二方に代わり、小澤電設工事㈱小澤直樹氏と㈱外山電工の外山尋久氏が役員に加わることとなりました。

総会の全議案は二時二十五分、五十嵐洋輔議長の閉会宣言をもって終了し、その後の臨時理事会での互選により、理事長に大倉電気㈱大倉直氏、副理事長に㈲丸伊イトウ電気商会伊東照勝氏、同じく副理事長に日東電気工事㈱土谷禎宏氏が選出されました。

令和六年度の経常利益は令和五年度同程度で、税引後利益は過去最低の令和五年度を下回ったことから、利用分量配当は実施しないこととし、令和七年度は緊縮財政をしいていくことと致しました。しかしながら、組合には業界をリードする立場でもあると考えております。緊縮財政をしいていく一方で業界の未来への投資のため、遅ればせながらではありますが、今年度は電気工事業界が人材を確保できるような事業に取り組んでまいります。

組合員の皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

第30回 大レクリエーション大会

令和七年七月六日、第三十回の節目となる大レクリエーション大会がグリーンピア大沼にて開催されました。組合員ならびに関係諸団体を合わせて合計二二九名の方にご参加いただきました。

今年度は六月の例会にて青年部員が組合に集まり、大会運営について意見交換を行いました。青年部員の減少もあり、運営人員が少ないながらも多くの参加者に楽しんでいただける内容を協議し、各担当チームに分かれて必要なものの確認や手配等、今大会に向けた準備を進めてまいりました。

開催日当日は天候に恵まれ、屋外にて実施することになりました。日差しも少なく、比較的涼しく過ごしやすい一日だったかと思います。続々と参加者の方が集まる中、会場設営も順調に進み、準備が整ったところで大会はご案内通り十時に開会しました。

外山青年部長の開会宣言、大倉理事長の挨拶、北海道電力ネットワーク（株）道南総括支店中村支店長、函館市議会の中山議員にご来賓挨拶を頂戴した後、ラジオ体操で体をほぐし、競技開始となりました。

全員参加の『じゃんけん大会』から始まり、続いての『ぐるぐる障害物競争』では大人も子どもも必死にゴールを目指す姿にはとても感動致しました。小学生以下対象の『玉入れ』や『綱引き』では、お子さん達の懸命な姿、景品をもらって嬉しそうな表情を垣間見ることができました。さらに毎年恒例である、女性のみの『椅子取りゲーム』では、今年も意地と意地のぶつかり合いで、大変盛り上がりました。

また、今回の支部対抗競技では、各支部十名ずつ選出した『綱引き』を行いました。各試合見どころ満載で、『北電』と『東部支部』の決勝戦では、拮抗した戦いを見せてくれましたが、粘りに粘った『東部支部』が二勝先勝し、見事優勝しました。

アトラクション部門では、『ペットボトルロケット』や『サイバーホイール』などの遊具を設置し、広い敷地を使ってアクティブにお子さん達が楽しそうに遊んでいました。

昨年に引き続き、青年部ＯＢにより出店していただいた『こども縁日』も好評で、こちらもお子さんの行列が絶えず大変賑わっている様子でした。

食事では、『香港』に協力をお願いし、おかず盛りだくさんのランチプレートを提供していただきました。飲み物は『みのや』に協力をお願いし、ジュースやビールなどを提供していただきました。

全ての競技が終了し、閉会式では、支部対抗綱引きの表彰式が行われた後、大会副委員長の作並理事より北海道電力、電材およびメーカー各社、その他協賛していただいた関係各社に対しての御礼と青年部への労いの言葉が述べられ、大盛況のうちに今大会は終了しました。

午後から雨予報が出ていたため、途中駆け足での進行となりましたが、全体を通して円滑に進めることができました。大会の準備や運営は大変な労力を費やしましたが、参加された方の「楽しかった！」という声が何より嬉しく、頑張ってよかったと実感致しました。私自身も本当に楽しかったです。

今年度でレクリエーション大会は一旦お休みとなりますが、また違った形で皆様に楽しんでいただけるような企画を模索し、青年部一丸となって取り組んで参ります。

最後になりますが、大会にご参加いただいた組合員ならびにそのご家族の皆様、ご支援くださった関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

函館地方電気工事組合　青年部
副部長　工藤　雅美

函館港まつり「ワッショイはこだて」

令和七年八月二日、開港一六六周年函館港まつりワッショイはこだて十字街・松風コースに当組合はお馴染みの電線マン音頭で参加いたしました。ここ数年続けて参加させていただいておりますが、毎回新たな発見や喜びがあり、年を重ねるごとに祭りへの思い入れが一層深まっております。今年も「電線マン」の着ぐるみを身にまとい、息子と共に最前列に立って踊りの列に加わりました。沿道から寄せられる温かな声援に応えながら進む息子の姿は、昨年よりも一層堂々としており、その成長を間近で感じることができました。親子で並び、声を掛け合いながら祭りを楽しむことができたことは、私にとって何よりの喜びであり、地域の伝統を継承していく大切さを改めて実感いたしました。

また、本番前日には、青年部の仲間と共に山車の電気装飾の取り付け作業をお手伝いする機会をいただきました。配線や照明を一つひとつ取り付け、車体が次第に光で彩られていく様子を間近で体験できたことは大変貴重でありました。すべての準備を終え、一斉に明かりが灯った瞬間は、祭りを迎える高揚感を一層高めるものであり、自らの手でその一端を担えたことへの誇りを強く感じました。作業を通じ、仲間と協力し合うことの大切さや、組合員としての連帯感を改めて実感することができました。

近年は新型コロナウイルスの影響により、港まつりも思うように開催できない時期が続きました。しかし、昨年・一昨年に続き、今年も多くの市民や観光客が沿道に集まり、笑顔と熱気にあふれる祭りを迎えることができたことは大きな喜びであり、地域社会の力強さを示すものと感じております。港まつりは単なる夏の行事ではなく、人と人とを結び、地域に活力をもたらす大切な文化であることを、改めて実感いたしました。

これまでの参加を通じて、私は「観る立場」から「参加する立場」へ、さらに「盛り上げる立場」へと関わり方を広げてまいりました。電線マンの衣装を着て沿道の皆様から温かなご声援をいただいたことは、組合員として活動する喜びを強く感じる瞬間でありました。また、息子と並んで参加できた経験は家庭にとっての思い出となっただけでなく、地域に根差す責任を親子で共有する契機にもなったと考えております。

最後になりますが、ご参加いただいた組合員とそのご家族の皆様、ご協賛いただいております電材問屋各社並びにメーカー様各位に紙上をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。今後も組合員の一人として、地域の伝統行事に積極的に関わり、次の世代へこの文化をつないでいく一助となれるよう努めてまいります。そして、港まつりがこれからも変わらず続き、多くの人々に笑顔と活力を与え続けることを心より願っております。

函館地方電気工事協同組合
青年部　理事　横内　竜太

一級及び二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習

二級引込線工事士・低圧計測器工事士の安全技能講習が令和七年六月十八日と十九日に北電ネットワーク㈱道南統括支店配電工事グループ様のご協力のもと座学を組合会議室、実技を北電ネットワーク宮前町実習場を会場として一一八名が受講し、開催されました。講習当日は、天候にも恵まれ、無事に実施することができました。

また、九月十七日には、令和四年に開催して以来となる、一級引込線工事士の新規認定講習と更新講習が開催され、二級引込線工事士と同様に座学を組合会議室で、実技を北電ネットワーク宮前町実習場にて、外線工事会社三十八名、内線工事会社三十三名の計六十八名が受講しました。

ご存知のとおり、一級引込線工事士はメッセンジャー引込線工事が施工可能となる個人の資格で、この一級引込線工事士が工事従事者として二名以上在籍し、工事従事者のほかに作業責任者を置くことのできる体制を有する会社は、高所作業車と一定の工具や防具を所有することで、低圧計測器・単独引込線・メッセンジャー引込線工事が施工可能な北電ネットワーク低圧Ⅱ認定を受けることができます。

一級引込線工事士講習の座学では、二級引込線工事士同様、事故事例や施工不良事例、引込線工事士運用要領の講義を行ったほか、労働安全衛生規則や関節活線防護工法についても講義を実施しました。

また、実技講習では北電ネットワーク宮前町実習場で無墜落昇降柱法訓練から始まり、高所作業車の操作訓練、絶縁ヤットコを使用しての関節活線防護の技能訓練、模擬短尺柱を利用してのメッセンジャーワイヤーを実際に敷設する施工技能訓練を実施しました。

このたび内線工事店新規講習を受講していただいたことにより、新たに二社がメッセンジャー引込線工事施工会社となる低圧Ⅱ認定を受けることとなります。安全には一層留意され工事に従事くださいますようお願い申し上げます。

二級引込線工事士安全技能講習の際の座学では、当組合から㈱シマデン産業の中島理事と㈱進成電機機械工業所の高井理事に講師を務めていただきました。また、高井理事には一級引込線工事士座学でも講師を務めていただきました。

二級引込線工事士の座学と実技、加えて一級引込線工事士の座学と実技でも講師を務めていただいた北電ネットワーク㈱道南統括支店配電工事グループの皆さまには紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

第22回 道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦

第二十二回目の開催となる道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦が、当地函館の函館ベイコーストカントリークラブにて八月二十九日に開催されました。北海道の全ての単協と道工組本部からご参加をいただき、八十二名の出場選手での個人戦、さらに、道工組・札幌・道北（旭川）・室蘭・苫小牧・十勝・釧根の単独で構成された七チームと小樽と空知と北部（名寄）を一つの合同チームとして、そして我らが函館チームということで、全九チームの成績を競う団体戦が実施されました。ちなみに我らが函館地方電気工事協同組合チームは、十七名の選手が出場し、初の団体優勝へ向け、開催前は期待が高まっておりました。

競技方法は、『新ペリア方式、ダブルパーカット、上限ＨＤＰＣ３６、コース内は六インチＯＫ、ＯＢは打ち直し、グリーン上はワングリップＯＫ、ボール探しは三分以内、明らかにＯＢではない場所でロストボールとなった場合は失った付近から二打罰。』ということのようで…ゴルフをやらない筆者は誰かに書いてもらうべきだったとこの時点で後悔しています。競技に関して、個人戦は言うに及ばずですが、団体戦は各単協の理事長あるいはそれに次ぐ方をキャプテンとして、キャプテンのスコア＋上位四位の合計五名のスコアで競われます。

今大会に目を移す前に、このゴルフコンペの歴史は、平成十四年、函館・札幌・室蘭の三つの単協で各地を持ち回って開催するようになったのが始まりで、発足当時の名称を『どっこいクラブ』と言いました。回を重ねるごとに参加する単協が増え、今では道工組と全ての単協が参加をするゴルフコンペへと成長していきました。

さて今大会に目を移しますと、大会当日、十一時、全ての参加者が全道よりゴルフ場に集結し、まずは、開会式が行われました。当組合大倉理事長から開会のご挨拶と当組合伊東副理事長から大会ルールの説明の後、全員で記念撮影をしていよいよスタートです。スタート早々から小雨交じりでしたが、時間ともに雨足が強くなり、最終組がホールアウトした十八時過ぎには、日も暮れて、気温も下がり、大変なスポーツだと感じたものです。

さて時と場所は移り、大会当日十九時からホテル法華クラブ函館にて表彰式と懇親会が開催されました。表彰式開会あたり函館大倉理事長から大会長のご挨拶、ついで道工組小野寺理事長より主催者を代表してご挨拶の後、道工組副理事長で小樽電協の岩城理事長より乾杯のご発声をいただいて、しばしのご歓談となりました。会は進み大会結果を協同電気通信㈱石塚社長と㈲五稜郭カスガ五十嵐社長から各成績が軽妙なトークとともに発表され、団体優勝は、札幌電協、我らが函館電協は九チーム中第四位でした。しかし、個人戦では、新栄電業㈱吉田直幸社長が優勝し開催地として非常に嬉しい結果となりました。成績発表の後、次年度開催の札幌電協鈴木理事長から歓迎のご挨拶、会の最後に道工組副理事長で空知電協の猪股理事長からご挨拶いただき、第二十二回道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦が幕を閉じました。

大会運営にご尽力いただいた皆さまありがとうございました。来年度は札幌開催です。腕に自信をお持ちの方、出場のご一報は事務局までお知らせください。

なお、この大会の開会前の集合写真を今号の表紙に採用させていただきました。

支部合同大阪・関西万博旅行記

二〇二五年五月九日函館空港九時四十五分に出発し、羽田を経由して十三時三十五分に伊丹空港に到着した。そこから旅行会社手配のバスに乗り込み会場へ向かう。バスが会場付近に近づくと、広大な敷地に次々と姿を現す建物に、思わず「大きいなあ」と感嘆の声があがった。

バスを降りた後は会場入口へと歩くのだが、これがなかなかの距離である。調べてみると駐車場から西ゲートまではおよそ一キロメートル、歩いて約十五分ほどかかる。皆で談笑しながら歩いたものの、思わず「ちょっと遠いなあ」とぼやきが漏れる場面もあった。それでも入場ゲートに着くとスムーズに通過することができ、団体・事前予約の効果を実感して安堵した。

最初に目に飛び込んできたのは「大屋根リング」。メディアで何度も目にしていたが、実物は圧倒的で、ただ「でかい！」としか言いようがなかった。スケール感と存在感に息を呑み、万博の世界に入った実感が湧いてくる。この日の見学は予約が取れていた「オーストラリア館」からスタート。内部は工夫された展示が多く、国の特色や未来への提案が盛り込まれており、参加者一同興味深く見学した。他にも魅力的なパビリオンは数多くあったが、抽選に外れたり予約ができなかったりで、長い行列に並ぶしかない場面も少なくなかった。しかもこの日は到着が午後だったため、見学時間は三時間ほどしかなかった。とりあえずは会場全体の第一印象を受け止め、翌日の見学計画をどう立てるか考えを巡らせることになった。

夕食はホテルに戻って全員での懇親会。普段あまり交流のない会社の方々とも杯を酌み交わし、賑やかに盛り上がった。旅の初日の夜としては最高の時間だった。

翌五月十日は朝から会場へ。予約の取れている「Ｐａｓｏｎａ館」を見学した後は、それぞれ希望のパビリオンへと散っていった。人気のある館は待ち時間も長かったが、それも含めて万博体験の醍醐味である。中には会場を離れ、大阪市内観光に出かけたグループもあった。夜は支部やグループごとに分かれて懇親会を開き、展示の感想や旅の話題で遅くまで語り合った。支部の垣根を越えた交流が自然に生まれ、有意義な一日となった。

最終日の五月十一日は奈良へ向かった。東大寺南大門に立つと、その圧倒的な大きさと歴史の重みを感じ、誰もが言葉を失った。続いて春日大社を参拝し、静かな森と朱色の社殿が織りなす風景に心が洗われる思いがした。観光を終えると、伊丹空港十三時発の便で羽田を経由し、無事函館へ帰函した。三日間の行程を振り返れば、充実感とともに少しの疲労感が心地よく残った。

こうして振り返ると、万博のスケールの大きさと未来への夢を感じる展示、奈良の歴史と静寂、そして参加者同士の交流が織り交ざった三日間は、まさに「学び」と「親睦」の旅であった。

今回の旅行は、多くの参加者がそろっての大きな企画であった。通常は支部ごとに旅行を企画し、実施しているのだが、計画段階で参加者の募集からはじまり、旅行費用の折衝、スケジュールの調整など、各支部長は苦慮することが多い。その点、万博旅行は組合全体の事業としてまとめて実施したため、負担が分散され、多くの方が参加しやすい形となったのではないかと感じる。今後の参考にもなり得る取り組みであり、機会があればまたこのような企画をできればいいなと思う。

【旅行記文章作成】
ＣｈａｔＧＰＴ＋西部支部長　高井秀昭

令和七年度 安全大会

高温多湿な気候となり、感電事故等が増える八月は経済産業省で『電気使用安全月間』として定められており、各所で安全に対する様々な取り組みが行われています。

当組合でも『電気使用安全月間』に合わせ、七月中旬以降、組合本部・八雲・江差の各支部にて安全大会を開催しました。

函館本部での安全大会では、来賓の北海道電力ネットワーク㈱道南統括支店の小田配電工事グループ副長より挨拶を頂戴し、安全講話では、谷口特定社会保険労務士が『熱中症対策の強化について』と題して、また、北電ネットワーク㈱道南統括支店の大坪配電工事グループ総括主任からは事故事例等を中心とした『安全について』をそれぞれご講話いただきました。

最後に青年部の鶴蒔享兵氏（㈲風光電設）が安全宣言を行い、函館本部の安全大会が閉会しました。

また、江差支部は七月二十五日（十四名）八雲支部は七月二十九日（十九名）、各地区の北海道電力ネットワークセンターにおいて開催されました。また、福島支部は七月三十日に開催を予定しておりましたが、カムチャツカ半島の巨大地震による津波警報の影響で延期となり、別途開催されることとなりました。

編集後記

編集後記の依頼を受けまして、編集後記って何を書けばよろしいでしょうか？ってところからスタートしまして、インターネットで検索しましてその結果、自由に書けばいいと。

私、大変困りました…他力本願がモットーな私、先人達の知恵を借りようと過去のいなづまの編集後記を読み漁って思いましたが、これは真似出来ない、皆さま書くのが上手いし、その時のネタ選びもいいなぁと勉強させられました。個人ネタとか時事ネタを何か探さねばならないなぁと、子どもの習い事のため、青森行の船の中、揺られながら色々と考えておりました。何を書いたら良いか分からない中、個人ネタで恐縮ではございますが、私の子どもが剣道を始め一年が過ぎまして色々と感じたものがありました。「剣道の理念は「剣の理法の修練による人間形成の道」、剣道を通じて心身を鍛錬し、礼節を重んじ、信義を尽くし、誠を尽くすことを通じてより良い人間を目指すという考え方です。」とありまして、子どもが色々な面で成長できるならばと思い入会させていただきましたが、私自身剣道のけの字もわからなく、まぁ習い事の範疇だろうと高を括っておりましたら、まぁ仕事だ試合だ合宿だ打ち合わせだ、よっしゃー出張だ遠征だ残業だヤバい資格試験だ、組合活動ダーッと振り返ってみれば中々多忙な一年を過ごしていました。

あまりにも公私ともに忙し過ぎると、この道を行けばどうなるものか…迷わず行けよ行けばわかるさ！！と闘魂の方が引退の時にスピーチで言ってた詩がリピート。まだまだ遠い道のりでゴールも見えないと不安も感じながら、新しい繋がりや礼儀等、日々子どもの成長とともに親も成長させてもらっていました。ただ一日二十四時間じゃ足りない三十六時間くらい欲しいなぁと最近感じるようになりました。

函館の夏の大イベント港まつりの際、やはり気になったといえばＧＬＡＹのＴＥＲＵさんが一緒に歌って踊りますよーって話題でしょうか。当組合の次に踊るという情報もあって一目見てみたいなぁと思っていましたが、そんな話題も吹き飛ぶくらい全力で電線マン音頭を踊っていまして、気が付けば帰宅してました（笑）子どもが一緒に出るとの事もあり、五稜郭コースにも出ると聞いていたので見に行ってきましたが、ＴＥＲＵさんが乗っている山車と一緒に流れてくる追っかけの人は多く、子どもも何処にいるのやらで結局チラ見程度で終わってしまいました。皆さま、今年の夏はどうお過ごしでしょうか？

（Ｔ・Ｓ）

題字　小寺寛一（第二代理事長）

発行所　函館地方電気工事協同組合
編集　いなづま編集委員会
住所　函館市日乃出町７番22号
印刷所　龍文堂印刷株式会社

あしたの光で〝ここちよい〟を創ります。
東芝ライテック株式会社
北海道支店函館営業所
〒040－0001
函館市五稜郭町一－十四　五稜郭114ビル三階
TEL　五一－一六〇〇二
FAX　五一－一六〇二四

Panasonic
パナソニック㈱エレクトリックワークス社
北海道電材営業部
函館電材出張所
〒041－0808
函館市桔梗三丁目三四－一六
TEL（〇一三八）四七－六三三三
FAX（〇一一）七四七－三八〇六

kawamura
河村電器産業株式会社
北海道支店函館駐在所
〒040－0011
函館市本町六－五　協和函館ビル三階
TEL（〇九〇）六四八七－六三九三
FAX（〇一三八）三三－七四三七
北海道支店　〒003－0006
札幌市白石区東札幌六条一丁目二－三〇　札幌三信物流ビル四階
TEL（〇九〇）六五二九－九〇三八
FAX（〇一一）八二二－〇五〇四

ISHIGAKI
ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス
石垣電材株式会社
本　社　〒060－0006
札幌市中央区北六条西一三丁目一番地
（〇一一）二一〇－五二二一番
函館支店　〒041－0824
函館市西桔梗町五八九番地三一五
（〇一三八）四九－六二一一番
八雲営業所　〒049－3104
二海郡八雲町内浦町二三四－五
（〇一三七）六三－三二六九番

未来環境を語る・造る
エミヤエリアパートナーズ株式会社
函館営業所
〒041－0824
函館市西桔梗町五八九－四九
電話　四八－五七五一（代表）
本社　札幌・営業所　釧路、苫小牧、小樽

TANAKA CO.,LTD
情報社会をパフォーマンスする
田中商事株式会社
函館営業所
〒040－0072
函館市亀田町一三番八号
電話　四〇－〇八〇〇
本社・東京　営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸
株式会社
新光照明
〒042－0934
函館市広野町五番九号
TEL（〇一三八）五五－〇六六三㈹
FAX（〇一三八）五五－〇八一〇